

平成27年度 事業報告

社会福祉法人 新宿あした会
新宿第二あした作業所

1. 事業所概要

- (1) 設立年月日 平成15年1月1日
- (2) 種 別 就労継続支援 (B型)
- (3) 名称及び所在地
 - ①名 称 新宿第二あした作業所 ②所在地 新宿区西早稲田 3-11-6-101
- (4) 事業所の規模
 - ①利用者定員 20名
 - ②構造・面積 鉄筋コンクリート造地下1階、地上3階建
延べ床面積530.23㎡ (1階入り口階段6.13㎡付)
建物1階 作業室158.68㎡

2. 職員体制

(1) 職員構成

職 務	勤 務	人 数
事業所長・会計責任者 職業指導員	常 勤	1
所長代理・出納係 サービス管理責任者 小口現金取扱者	常 勤	1
生活支援員 職業指導員	常 勤	1
職業指導員	非 常 勤	1
目標工賃達成指導員	常 勤	1
職業指導員	法人内派遣	1 (常勤換算)
常勤人数		4
非常勤人数		1
法人内派遣		1
合 計		6

3. 利用者状況 (H27年3月31日現在)

(1) 性別、年齢別構成

	18～	20～	30～	40～	50～	60～	合計
男	1	3		5	2	2	13
女			1	3			4
合計	1	3	1	8	2	2	17

(最低年齢) 男性 19歳 女性 33歳
 (最高年齢) 男性 67歳 女性 46歳
 (平均年齢) 男性 43.3歳 女性 42.5歳 全体 43.1歳

(2) 利用者入所前の状況

状 況	在 宅	他施設	学校	就 労	合 計
人 数	0	4	9	4	17

(3) 障害の程度

		愛の手帳					合計
		1度	2度	3度	4度	なし	
身 障 手 帳	1級						0
	2級						0
	3級以下			1	1		2
	なし		5	8	2		15
合計		0	5	9	3	0	17

(4) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
月末利用者数	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	-
入所者数	1												1
退所者数	1												1
開所日数	21	18	22	22	21	19	21	19	19	19	20	22	243
給付対象延べ人数	253	216	258	264	238	224	247	227	220	224	228	253	2,852
H27年度利用率%	66.9	70.6	69.0	70.6	66.7	69.3	69.2	70.3	68.1	69.3	67.1	67.6	68.7
H26年度利用率%	69.9	70.0	67.6	71.6	66.4	74.7	74.8	69.0	67.2	67.2	67.5	67.9	69.5

(5) 入退所

①入所 男性1名 ②退所 男性1名

(6) 工賃支給実績

	支給対象	工賃総額	最高工賃	最低工賃	H27平均工賃	H26均工賃
4月	18	287,310	38,390	1,280	15,962	16,040
5月	17	227,120	31,410	1,280	13,360	15,458
6月	17	279,280	39,970	240	16,428	15,880
夏季賞与	17	196,822	29,170	430	11,577	9,540
7月	17	279,305	40,010	320	16,430	17,978
8月	17	257,075	36,270	1,485	15,122	15,880
9月	17	239,240	32,645	1,680	14,073	15,611
10月	17	272,175	36,300	960	16,010	17,866
11月	17	260,035	33,570	1,815	15,296	14,399
冬季賞与	17	453,699	62,150	1065	14,710	20,965
12月	17	242,520	32,780	0	14,266	14,096
1月	17	249,920	32,780	0	14,701	14,099
2月	17	250,360	34,000	0	14,727	15,020
3月	17	276,665	38,430	1,760	162,74	16,500
年度末	17	934,942	133,793	2,091	54,997	46,122
合計(平均)	17.1	392,206	35,546	902	22,958	22,752

4. 活動実績

(1) 日課

8 : 3 0	開所・通所・更衣
9 : 0 0 ~	体操・朝礼
9 : 1 0 ~	作業開始 (休憩 10 : 30 ~ 10 : 35) (休憩 11 : 30 ~ 11 : 35)
1 2 : 3 0 ~	昼食・休憩
1 3 : 3 0 ~	作業開始 (休憩 14 : 30 ~ 14 : 35)
1 5 : 1 5 ~	作業終了・お茶掃除・更衣
1 5 : 5 5 ~	終礼
1 6 : 0 0	利用者帰宅
1 7 : 1 5	閉所

(2) 外食プログラム

定期的にいくつかのグループに分かれて作業所近辺の飲食店で食事をする
実施回数 49回

5. 作業内容

(1) 自主作業

クッキー・パウンドケーキ製造・販売

販売委託先	ふれんど ふらっと4店舗 早稲田大学生協 新宿御苑 しのぶ茶房
出張販売先	帝国ホテル(社内販売) 実施 12回 日本福祉教育専門学校 実施 9回
イベント販売	地域祭りなど休日販売 参加 31回

(2) 受託作業

受託先	作業内容	作業頻度
向山商会	崎陽軒のシュウマイ箱組立作業	常時
ランド	切手貼作業	月1回
新宿区	新宿中央公園の花壇の管理 及び 事業所内で補充用の花の管理	週3日以上

(3) 派遣

派遣先	場所 内容	
ふれんど	場 所	区立障害者福祉センター 内
	内 容	喫茶店 店員
	実 施	実人数 3人
スイング	場 所	コズミックスポーツセンター 内
	内 容	売店店員
	実 施	実人数5人
ふらっと	場 所	ここからカフェ まりそる
	内 容	喫茶店店員
	実 施	実人数 3人

6. 就労支援

(1) インターンシップ事業

- ①実施者 仕事支援センター
- ②内 容 新宿区役所内の部署のパソコン入力、封入等の作業
- ③参加実績 なし

7. 行事实績

月	行事名	備考
4		
5	合同歓送迎会 戸塚第一小学校ふるさと祭り 障害者スポーツ大会	障害者福祉センターにて 近隣の小学校のイベントに参加 任意参加
6	宿泊訓練	
7		
8		
9	スポーツの集い	多くの施設が参加の運動会
10		
11		
12	障害者作品展 センター祭 クリスマス忘年会	新宿西口共同バザールにて 障害者センターにて 稲郷にて
1	作業所新年会	石庫門にて
2	防災訓練	本所防災館
3	花見	上野公園

8. 健康管理

- (1) 定期健康診断 1回
- (2) 嘱託医巡回（精神科医） 12回
- (3) 体重・体脂肪測定 12回

9. 防災訓練

- (1) 避難訓練 12回
- (2) 総合防災訓練 1回

10. 研修実績

- (1) サービス管理責任者研修 1回
- (2) 職員相互研修 1回
- (3) 虐待防止法講演会 1回（延べ5人）

11. 会議

- (1) 保護者会 12回
- (2) 職員会議 40回
- (3) 合同ケース会議 6回
- (4) 合同職員会議 12回

- (5) 事業所連絡会議 24回
- (6) 工賃査定会議 2回(4月・10月)
- (7) 支援・指導ミーティング 244回
- (8) 個人面談 2回
- (9) 進路対策会 3回

12. 実習生受入

- (1) 特別支援学校関係
 - ①男性 4人 ②女性 2人
- (2) その他
 - ①男性 1人 ②女性 1人

13. 専門学校関係実習受入・見学受入

- (1) 目白大学 見学 30人(延べ 30人)
- (2) 日本福祉教育専門学校 実習 10人(延べ 44人)

14. ボランティア受入

- (1) 小中学校体験ボランティア 4人(延べ 4人)

15. まとめ

- (1) 作業・販売について
 - ・クッキーパウンドケーキ製造については、季節限定商品である「チーズパウンド」・「お芋パウンド」・「桜クッキー」・「桜パウンド」を継続し、新商品は作らず安定的な製造を目指した。
 - ・昨年度に続き、地域の学校関係や卒業・入学に係わる行事での注文、季節行事の注文を例年どおり受ける事ができた。
地域の祭りの販売に関しては、祭りが重なり人員の配置が難しく、辞退する事もあったが、繁忙期以外での新たな祭りの出店依頼があった。
 - ・新宿区社会福祉協議会と協賛して会員向けにクーポン券を配布し、クッキー販売を実施した。今年度は、期間を延ばし1月5日から6月30日までとし、割引額250円はそれぞれ50%づつの負担とした。3月31日の時点で、50枚のクーポンと引き換えている。
 - ・シウマイ作業に関しては前年度より、8万円売り上げが伸びている。
 - ・今後もクッキーパウンドケーキ製造販売を主として作業活動を継続していきたいが、利用者の高齢化や重度化による作業所全体の作業能率低下も見られ、新しい人材の確保が必要になってきているが、今年新卒の利用者を獲得する事が出来、さらに28年度も新卒の利用者が入所する事が決まり、今後の生産活動が良くなって来るであろう兆候が見えてきた。
 - ・クッキーの売上は、前年度より24万円減少している。12月までは20万円ほど上回っていたが、その後失速。原因として考えられるのが、1月以降の地域の祭りの売り上げ減少、店頭売り上げの減少と分析する。
昨年度より店頭外販売を多くおこなってきたが、さらに店頭外販売の回数を増やす事と、月一で出張販売する場所を増やす事を考えていきたい。

- ・今年度第三者評価を受審し、受審内容も年々厳しくなっていく中、施設内環境に関してあまり良い評価ではなかったため、今まで以上に利用者が安心安全に利用できるよう、施設内環境整備を早急に行う必要が出てきた。

(2) 利用者支援について

- ・個別支援計画を重視し、利用者に目標を意識付けながら支援を進めた。利用者間のトラブルもほとんどなく、納品・緑化推進事業・ふれんど派遣・ふらっと実習等の施設外支援へ積極的に参加をすすめた。
- ・利用者の高齢化が現実的になってきており、作業内容を本人の負担にならないよう考えながら作業を提供しなければならなくなってきた。

(3) 家賃補助減額

- ・新宿区より家賃補助の減額を打診されており、現在80%補助されているが、29年度以降は現状を維持できない見通し。

当作業所は利用率の低下回復が課題となっており、家賃補助減額が実行された場合、経営上逼迫するため、現在、在籍している利用者の利用率を上げる取り組みをし、なお且つ、安定して作業所を利用する新規利用者確保を引き続き継続する。